

全国学力・学習状況調査 蒲郡市の児童生徒の状況

1 調査実施日 令和3年5月27日(木)

2 教科の状況(全国の平均正答率と比較して)

☆小学校6年生の状況

教科	分 析
国語	<p><b>下回っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短答式の問題で、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題は、全国の平均値と同等の正答率であった。</li> <li>・思考・判断・表現等に関わる、「書くこと」の区分、記述形式の誤答が目立った。下書きを見て、主張する内容の構成や展開に合う説明を選択肢から選び答える問題や、条件に合わせて自分の考えを主張する文章を書く問題で、全国平均値を大きく下回った。</li> <li>・主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりする思考・判断・表現等に関わる書く力に課題が見えた。</li> </ul>
算数	<p><b>やや下回っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「C 変化と関係」、「D データの活用」の区分に関する問題の誤答が目立った。</li> <li>・「変化と関係」に関する問題では、速さが一定であることをもとに、道のりと時間の関係について考察することができるかを問う問題や、速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかを問う問題で、全国平均値を下回った。</li> <li>・「データの活用」に関する問題では、図書アンケートの質問結果を表に分類して整理する問題や、帯グラフで示された、図書室で本をあまり借りていない理由の数値を比較して示した特徴をもった項目と、その割合を記述させる問題で、全国平均値を下回った。</li> <li>・日常生活の問題を解決するために、場面や状況に応じて必要な数量やその関係を捉え、図や式などに表したり、結果を適切に導いたりする、数学的に表現・処理する力に課題が見えた。</li> <li>・身の回りの事象について、統計的に問題解決をするために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりする問題で、データに基づいて判断する統計的な問題解決の方法を知り、その方法で考察していく力を身につけることが課題として考えられた。</li> </ul>

☆中学校3年生の状況

教科	分 析
国語	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」と「書くこと」, 「言語文化と特質」の領域において全国平均値をやや上回った。中でも, 総合的な学習の時間で地域の担当者との電子メールを使ってやり取りを行う場合のメール文として, 伝えたい事柄を相手に失礼のないように効果的に伝わる書き方を問う問題で, 全国平均値より上回った。相手や場に応じて適切に敬語を使い, 必要な事柄を効果的に伝える力が身につけていることがうかがえた。</li> <li>・「読むこと」の領域である『吾輩は猫である(上)』の文中の語句の文脈の中における意味を答える問題や, 文中の語句「反対の結果を呈出した」ということがわかる登場人物の言動を本文中から抜き出す問題, 文章に表れているものの見方や考え方を捉え, 自分の考えを書く問題で, 全国平均値より下回った。文脈にある叙述に着目して意味を捉えたり, ものの見方や考え方を捉え, 自分の考えをもったりすることに課題があることがうかがえた。</li> </ul>
数学	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体としては, 全国平均値とほとんど同じ値であったが, 問題ごとに見ると全国平均値よりやや上回る結果もあった。</li> <li>・具体的な場面を想定する事象で内容を捉え, 一元一次方程式を作成する問題や, 問題に示された4つの数の特徴を捉え, 式に表す問題, 反復横跳びの回数から中央値を求める問題で, 全国平均値より上回った。「数と式」の領域で数学的な技能と見方や考え方が, 「資料の活用」の領域で数学的な技能が身につけていることがうかがえた。</li> <li>・「図形」の領域で, 平行四辺形になるため条件を用いて, 図で示された四角形が平行四辺形となることを説明する問題で, 全国平均値より下回った。図形について考察する場面で, 根拠となる条件が不十分で説明不足になっていることから, 数学的な見方や考え方を働かせて, 数学的な表現を用いて説明する力を身につけることに課題がみられた。</li> </ul>

3 学習・生活習慣等の状況

全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

○小学校6年生の状況

<全国と比較してよい傾向がみられるもの>

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 携帯電話, スマートフォンやコンピュータの使い方について, 家の人と約束したことを守っている。
- (3) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- (4) 5年生までに受けた授業で, 自分の考えを発表する機会では, 自分の考えがうまく伝わるよう, 資料や文章, 話の組み立てなどを工夫して発表していた子。
- (5) 算数の授業で, 問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている子。

- (6) これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）があったという子。

<全国と比較して気になる傾向がみられるもの>

- (1) 自分には、よいところがあると思うが少ない。
- (2) 家で自分で計画をたてて勉強をしている子が少ない。
- (3) 学校の授業時間以外に、平日1日当たり勉強している時間が1時間より少ない。
- (4) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子が少ない。

○中学校3年生の状況

<全国と比較してよい傾向がみられるもの>

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- (3) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- (4) 新聞をほぼ毎日読んでいる。
- (5) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- (6) 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思っている。
- (7) これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）があったという子。

<全国と比較して気になる傾向がみられるもの>

- (1) 平日、一日当たりテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を3時間以上している子が多い。
- (2) 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する子が少ない。
- (3) 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる子が少ない。
- (4) 家で自分で計画を立てて勉強をしている子が少ない。
- (5) 学校の授業時間以外に、平日1日当たり2時間以上勉強をしている子が少ない。

#### 4 調査結果をうけて

蒲郡市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持、向上させるための具体的な指導法についてまとめ、各学校に示していきます。各学校もまた、学習状況についても改善に向けた取り組みを考え、実施していきます。

#### 5 留意点

この調査で測定できた力は、学力の一部です。各家庭では、お子さんの得意な内容、不得意な部分を知り、今後の学習に生かしていけるよう励ましをお願い致します。